会 議 録（要点筆記）

会　議　名	令和６年度第１回米原市地域公共交通活性化協議会
開 催 日 時	令和６年５月28日（火）午前10時00分～午後12時00分
開 催 場 所	米原市役所本庁舎３階　３ＢＣ
出席者および欠席者	出 席 者：三星会長、坂副会長、田中委員、高木委員、濱委員、川口委員 北村（真）委員、辰野委員、野村委員、松尾委員 粂委員、 欠 席 者：福島委員、川幡委員、北村（き）委員、村山委員、上津委員、野口委員、 土屋委員、奥村委員、岡田委員 WEB参 加：西日本旅客鉄道株式会社地域共生室　中西氏 事務局席：滋賀県交通戦略課　宮田主査 事 務 局：米原市地域振興課　森川課長、大塚補佐、伊賀並主事
議　　題	議案第1号：米原市地域公共交通活性化協議会規約等の改正について 議案第2号：令和５年度事業実績について 議案第3号：令和６年度事業計画（案）について 議案第4号：米原市地域公共交通計画の承認について 議案第5号：米原市地域公共交通計画「別紙」(地域公共交通確保維持事業)の承認について 議案第6号：乗合タクシーまいちゃん号の停留所の移設について
結論	全ての議案について、全員賛成により、承認された。
審 査 経 過	**１　あいさつ** ・(三星会長あいさつ) ・全国的に公共交通が危機に瀕しているが、米原市は早いうちから公共交通活性化に取り組み、まいちゃん号やバスネットワークの再編成に取り組んできた。 ・運転手不足が危機的な状況の中、大阪府富田林市でバス会社が撤退した事例がある。 ・先進的な取り組みを行ってきたが、今までの取り組みなども見直し、皆で頑張って取り組んでいきたい。 **２　委員名簿の確認** **３　議事** **（１）協議事項１「米原市地域公共交通活性化協議会規約等の改正について」** （事務局から別添資料に基づき説明） 【質疑・意見等】 ・委員の代理人について、規約第７条１項で会議は委員の半数以上の出席がないと開くことがないとしているが、オブザーバーとして参加した場合、委員の過半数に含まれるか。 ⇒オブザーバーは委員の過半数には含めないため、会議なども開くことができない形

	になる。 ・第７条を改正した意味合いなど教えいただきたい。 ⇒代理出席はできない形をとっており、欠席でも各組織の意見を聞けるよう、代理人が出席できるように改正をさせていただいた。 ・委員は組織の代表として議論するため、代理出席する場合でも委員の定数に含まれることが多いが、そのような意味ではオブザーバーは委員のグレードを下げたような形となる。そのようにした経緯はなにかあるか。 ⇒この協議会の委員は市の条例で定めている付属機関の委員であり、意見等は最大限尊重されて施策を決定していく。委員の位置づけとしては組織の代表ではあるが、委員個人としての意見という取り扱いをしており、代理で出席した方について条例上の担保はないため、オブザーバーとして参加いただくようにさせていただいた。 ・個人としての意見をしっかりと出していただくような制度という理解でよいか。 ⇒その通りである。 ・今後、代理で出席してもらう方に意見や考えを伝えていただきたい。運賃協議部会については、時代の変化や問題発生時などその都度規約違反しない限り適切な措置を考えたい。改正自体はこれで問題ないと思う。 **【審議結果】** ・委員全員の賛成を得られたため、規約改正について可決された。 **（２）協議事項２「令和５年度事業実績について」** **協議事項３「令和６年度事業計画（案）」** （事務局から別添資料に基づき説明） **【審議結果】** ・委員全員の賛成を得られたため、承認された。 **（３）協議事項４「米原市地域公共交通計画の承認について」** （事務局から別添資料に基づき説明） ・地域公共交通計画の運転手の確保・育成に向けた支援という政策に免許取得の支援制度の検討とあるが、運転手不足が問題になっている状況の中、令和６年度、令和７年度と２年も導入の検討としているのは遅いように感じる。計画ができてしまった後になるがもう少し早く支援をしていただききたい。 ・令和７年度まで支援制度の検討をし、実施するのが令和８年では遅いと感じるがい

	かがか。 ⇒バスの運転手不足は大きな課題として認識している。令和６年度から検討し、令和７年度に何かしらの制度の実施を検討したいと考えている。 ・一年前倒しで行うことで予算編成がネックになってくると思うが、検討をしていただきたい。 ・地域資源の活用による移動手段の確保と運転手の確保が重要になるため、地域貢献を公共交通で取り組みたい米原市内の企業と協力して運転手不足に対策できる取組をしていただきたい。R６年度の共創 MASS プロジェクトについて第２次公募があるためそちらも検討いただきたい。 ⇒市内で社員の送迎を自社でされている事業者があり、電動バスを利用されている。送迎以外の時間であれば、バスの貸し出しはできると聞いているが、白ナンバーなので様々なアイデアを出して検討したい。また、ライドシェアについて、これまで住民同士のたすけあい交通などがあったため、知見などを増やしながら考えたい。 ・地域の総動員ということで必ずではないが、福祉関係、観光関係などの方も一緒に協力できればと考えている。 ・自治体が永続的に交通の支援を行うことは難しくなると考えられるので助け合い交通は重要だと考える。事業者などの交通資源の活用の可能性を研究していただきたい。 ・「免許取得の支援制度の検討」を「Ｒ７度まで」から「Ｒ６度まで」に変更することも含め、今回承認を得るということでよいか。 ⇒「R６年度まで」の検討とするという形での承認を取る。 **【審議結果】** ・委員全員の賛成を得られたため、承認された。 **（４）議案第５号「米原市地域公共交通計画「別紙」（地域公共交通確保維持事業）の承認について」** （事務局から別添資料に基づき説明） **【審議結果】** ・委員全員の賛成を得られたため、承認された。

	（５）議案第６号「乗合タクシーまいちゃん号の停留所の移設について」 （事務局から別添資料に基づき説明） **【審議結果】** ・委員全員の賛成を得られたため、承認された。 **その他について・意見交換について** ・今後協議事項として議題に挙げたい事項として１つ目はまいちゃん号の予約締め切り時間の短縮。２つ目は路線バスの米原工業団地線の土日の運行の短縮。また、乗合車両のユニバーサルデザイン車両の導入、ライドシェアに関しても協議していきたいと考えている。 ・そのようなことも含めて意見交換を行いたい。各委員から各組織の取り組みがあれば発言していただきたい。 ・高齢者の自主返納が問題となっている中で、認知症検査を行っている。高齢者の自主返納を促しており、強制ではなく任意で１ヶ月間自主返納期間を設けて免許がない生活を送るおためし自主返納を実施している。 ・人材不足が問題となっており、減便などを行っているがそれでもなお厳しい状況下にある。問題としてニュースに挙げられているが、市民の方には何とかなると思っている方もいるためなかなか厳しい状況ということを理解していない方もいる。何とか通勤・通学は死守したいと思う。運転手の人材確保はなかなか難しい。 ・今後は広域連携としてデマンドタクシーを長浜市、彦根市などへ広げ、利便性の向上をしていきたいが、財政の負担の問題もあるのでどういったことで改善できるか話し合をしたい。米原駅前調査したところ家族が自家用車の送迎をしていることが多いためライドシェアについては疑問がある。今後も打ち合わせなどしっかりと行いたい。

	  以上

会議の公開・非公開の別	■公 開　　傍聴者：　0人 □一部公開 □非 公 開 一部公開または非公開とした理由 （　　）
会議録の開示・非開示の別	■開 示 □一部開示（根拠法令等：　　） □非 開 示（根拠法令等：　　）
全部記録の有無	会議の全部記録　□有　■無 録音テープ記録　■有　□無
担　当　課	米原市地域公共交通活性化協議会事務局 （米原市役所市民部地域振興課内　担当：伊賀並）